

研究課題名

新人看護師の安全判断を育てる短時間研修の教育効果

— 質問形式ケースとデブリーフィングを用いたがん薬物療法看護教育 —

(1) 研究の概要

研究期間：倫理委員会承認後 2025 年 12 月 ～ 2026 年 4 月

研究代表者：新座志木中央総合病院 看護部 葛貫 由香

実務担当責任者：新座志木中央総合病院 看護部 葛貫 由香

(2) 研究の対象

対象：所属部署においてがん薬物療法に従事している 2025 年度新入職員看護師とする。

(3) 研究の目的

限られた教育時間の中で新人看護師のがん薬物療法における安全判断を育成することを目的として、質問形式ケース提示とデブリーフィングを中心とした短時間研修を実施し、その教育効果を明らかにすることである。

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

研修内容

- 研修は 180 分で構成し、以下を実施した。
- ミニ講義によるがん薬物療法における安全判断の基礎知識整理
- 投与前判断および異常時対応に関する質問形式ケース提示
- 講師支援のもと参加者が判断過程を言語化・共有するデブリーフィング

なお、実際の抗がん薬投与や実薬剤の使用は行っていない。

補足：デブリーフィングとは、学習体験後にファシリテーターの支援のもと、参加者が自らの行動や判断過程を言語化・共有し、気づきを深める構造化された振り返りである。

評価方法

本研究では、研修の教育効果を多面的に評価するため、以下の方法を用いた。

1) 研修前後評価

- 安全判断に関するミニテスト（10 問）
- がん薬物療法に対する自己効力感および不安を測定する 5 段階尺度アンケート

2) 行動評価（研修中）

ケース討議において、投与前判断や異常時対応に関する判断過程が言語化されたかを、行動評価チェックシートを用いてグループ単位で記録した。個人の能力判定を目的としたものではない。

3) 研修後1か月後のフォロー評価

研修後1か月後のフォロー評価で、実践機会が十分でない、または判断に迷いが見られた参加者には、教育的支援として事例展開を用いた振り返りを実施する

(5) 個人情報保護について

- 収集したデータは個人が特定されないよう匿名化し、統計的に処理する。
- 行動評価チェックシートについても、個人名は記録せず、グループ単位での集計・分析を行う。
- データは安全に管理し、研究終了後は適切に破棄または保存する。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院
〒352-0001 埼玉県新座市東北一丁目7番2号
TEL : 048-474-7211 (代表)
担当者: 新座志木中央総合病院 看護部 葛貫由香